

自主性育む教育を

福井大附幼創立50年で式典

福井市の福井大教育学部附属幼稚園が創立50年を迎え17日、同園で記念式典を開いた。保護者や大学関係者ら約150人が参加。夢や希望を持ち、自主性を育む幼児教育のさらなる発展を誓った。

最初に園児98人が元気いっぱい
の歌声を披露し、「誕生日おめでとう」と声を合わせ節目を祝った。

式典で吉村治広園長は「先行き不透明な社会だが、どれだけ遠く

目標でもひるまず、折れない心を培うことが重要。夢や希望を育み、未来につながる教育の質をさらに高めたい」とあいさつ。

福井大の中田隆二副学長らが祝辞を述べ、新設された附属義務教育学校と連携した教育環境の充実に意欲を示した。松木健一附属学園長による「21世紀に生きる子どもを育てる」と題した講演もあった。

附属幼稚園は教育学部と連携した地域密着の幼



福井大教育学部附属幼稚園の創立50年記念式典で元気な歌声を響かせる園児たち＝17日、福井市二の宮4丁目の同園

児教育を推進。16年度から本年度は週4回に拡大し始めた預かり保育を、一貫している。(山口晶永)